

第10回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 平成21年 3月12日 午後 2 時00分 ~ 4 時00分

場 所 神戸市役所都市計画総局大会議室

1 . みちの現状と今後の取り組みについて

- ・道路空間が持っている文化的な価値を踏まえた議論が必要。
- ・道路のデザインについては、地域の魅力も捉えていく必要がある。
- ・道路の役割において、想定した利用形態と実際の利用形態が合っていないことが色々な問題の一因となっている。
- ・道路の機能について、ネットワーク上の整理（格付けや接続関係など）が必要。

2 . 自転車等の利用環境対策（放置自転車等の対策、自転車走行環境の整備）について

（1）施策全体について

- ・交通施策の方向性（各種交通の促進や抑制など）を受けて、議論をすべき。
- ・ちくはぐな整備にならないためにも、基本方針は非常に大事だと思う。
- ・道路管理者と交通管理者との連携が必要。
- ・自転車の社会的費用と、それ以外の手段の社会的費用との比較により、地区ごとの自転車利用のあり方について検討すべき。
- ・生活に密着した部分で自転車施策にコストをかけることがふさわしいかどうか検討が必要。高齢化社会になっていくと、本当に自転車が安全かどうかわからない。
- ・地域の条件（基礎の交通手段、利用者、目的、交通手段、地形など）が違い、そういうものを含めながら、全体的なコストや環境面、安全面などから議論する必要がある。

（2）自転車走行環境の整備について

- ・自転車通行帯について、安全で利用しやすい環境を整えて欲しい。歩車分離されていない道路では、自転車だけではなく自動車運転者も危険を感じる。
- ・三宮周辺では公共交通機関が充実しており、あえて自転車利用を促進する必要があるのか。
- ・都心において、自転車利用を促進するよりも簡単に乗り降りできる公共交通機関の整備などが必要と思う。
- ・まちの魅力を高めるため、神戸の東から西まで海沿いを通して自転車が走れる環境の整備が必要。
- ・ウォーターフロントの再整備をしていくときに、同時に自転車道を考えていくべき。神戸の海側は、レジャーとしての自転車道という可能性はすごく高いと思う。

（3）駐輪対策について

- ・郊外の自転車利用（通勤、通学等）に関しては、駐輪場の整備が必要。
- ・駅近辺を指導員が巡回するなどの対策も必要。
- ・駐輪の目的や時間帯、駐輪場所等の実態が複雑で対策の検討は難しいと思う。
- ・放置自転車がひどくなっている一因は、自転車が非常に安くなっているためでは。
- ・子供のうちから自転車利用マナーを向上させる講習や免許制度などが必要。
- ・大規模な商業施設には駐輪場の附置義務があるが、小規模な店舗に対しては、事業者への協力や啓発なども必要。
- ・附置義務駐輪場について、実態調査を行いチェックすべき。また、店舗の駐輪場がど

こにあるのか、わかりやすくする体制が必要と思う。

- ・附置義務を鉄道駅に置き換えるという考え方もあり得る。

3. 「道路デザイン」向上への取り組みについて

- ・デザイン都市に指定されて、多分神戸市の全部局で取り組みを検討していると思うので、ばらばらに進めずに調和を持ったデザインとして欲しい。
- ・サインについて、道路や駅など、異なる管理者間でデザインを揃える仕組みが必要。
- ・眺望景観の規制において、道路から海とか山が見通せるという取り組みをしているが、そういう都市の長所を生かす形を周辺の建築物の規制も含めて進めて欲しいと思う。
- ・居留地や北野、南京町など、神戸の特徴的な景観をもつ場所同士をどう関係づけるのか検討すべき。